

令和5年度学校運営協議会・魅力化コンソーシアム第1回会議 記録

1. 期 日：令和5年7月4日（火）
2. 時 間：15：30～17：00
3. 場 所：松江農林高校会議室
4. 出席者：

氏 名	所 属
能海 広明	松農会 会長
上野 誠	島根大学生物資源科学部 学部長
山根 繁樹	島根県立大学短期大学部文化情報学科 教授
田中 孝	島根県立農林大学校農業教務部 部長
松浦 徹	松江市産業経済部 部長
曳野 貴志	松江農林高校 PTA 会長
大岩 睦子	地域代表
矢野 俊人	松江農林高校魅力化コンソーシアムマネージャー
原 隆志	松江農林高校 校長
大庭 莊平	松江農林高校 教頭
石倉 裕子	松江農林高校 事務長
中村 丈志	松江農林高校 総務主任
藤原 智子	松江農林高校 教務主任
山尾 祐	松江農林高校 生徒指導主事
岩谷 正枝	松江農林高校 進路主事
齋藤 寿和	松江農林高校 魅力化推進室長
立原 祐二	松江農林高校 農場長
曾田 稔	松江農林高校 魅力化推進室

5. 学校運営協議会議題

(1)会長・副会長の選出について

会長：能海広明様、副会長：梶谷朱美様で承認。

(2)学校経営方針（グランドデザイン）について

承認。

(3)質問・意見等

- ・グランドデザインをどのようにステークホルダーに伝えているかについて。

6. 魅力化コンソーシアム役員会

(1)主な意見等

- ・今年度新たにスタートしたプロジェクトは、島根大学と連携したフルーツソースの開発、雲南市の企業がクラフトコーラを製造した残渣を活用したスイーツの商品化。これらを10月に東京都世田谷区大岡山商店街で出店販売するよう計画している。
- ・中谷医工計測技術振興財団の助成金の研究内容について、八束町のボタンの台木であるシヤクヤクの無病化苗の生産について継続して研究している。
- ・八束町は課題だけでなく多くの可能性も秘めている。また協力してくれる人がいる点でも協働していく上で魅力的な場所である。
- ・松江農林高校だけでなく、島根大学、県立大学、農林大学校が八束町に集まって取り組みばいいモデルケースになるのではないかと。
- ・スタートアップ企業を支援するために、松江市では、「まつえ起業 ecosystem」を立ち上げた。また、アントレプレナー教育を念頭に TSK と「みらいチャレンジ」にも参画している。松江農林高校から高校内企業の立ち上げに挑戦してはどうか。
- ・それぞれ面白い取り組みでうまくいっているように見えるが、成功体験だけでなく失敗の体験も重要だと思う。
- ・これまで本当によくできた製品を開発している。昨年度の「7つの恋の・・・」の商品化もすばらしく、生徒には大きな自信になっているように感じた。
- ・商品を開発しても、それが1年で終わってはもったいないので、継続して取り組んでいけるようにしていきたい。